

東京都 スポーツ推進委員だより

第119号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

令和2年1月8日

編集：情報委員会

ご挨拶



新年のご挨拶

明けましてあおめでとうございます。

令和になって初めての年が明けました。スポーツ推進委員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年は、「平成」から「令和」に改元され、新しい時代が始まりました。痛ましい事件や台風などの自然災害が多発し多難な年ではありましたが、スポーツ界では、新たな記録や世界で活躍する選手が次々登場して大きな話題となりました。

また、ラグビーワールドカップ2019日本大会は、桜の戦士の大活躍により大いに盛り上がりとともに、私たちに勇気と感動を与えてくれました。

待ちに待った2020年になりました。3月には聖火リレーが始まり、7月にはオリンピック・パラリンピック東京大会が開幕します。その舞台となる新国立競技場は既に完成し、雄大な姿を見せています。さまざまなスポーツで日本人選手の活躍が報道され、オリンピック・パラリンピック代表選手の選考も本格化

していることなども後押しとなって、スポーツに関心を寄せる人は確実に増えているように感じます。

フィールドキャスト(大会ボランティア)、シティキャスト(都市ボランティア)の研修も始まっており、各国の選手や日本を訪れる皆さまをお迎えする準備も着々と進んでいて、大会に向けた機運が益々高まってきました。

こうした機運を活かし、都民のスポーツ実施率70%の達成に向けた取り組みをさらに加速させていくことが重要であり、私たちスポーツ推進委員への期待はさらに高まっていくものと思います。

今年の干支は「子」。中国の『漢書』では、「子」は、繁殖する・生むという意味をもつ「孳」という字からきており、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表していると言われ、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられているそうです。

新しい時代に求められる役割に柔軟に対応していけるよう、新たな気持ちで取り組んでまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会長 新島 二三彦

社員総会



令和元年度 第2回社員総会

9月25日(水)午後6時30分から武蔵野公会堂会議室で一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会令和元年度第2回社員総会が開催されました。

新島二三彦会長より、開催中のラグビーワールドカップをきっかけに、スポーツに関わってくださる方が増えていくことを期待したいとの挨拶があり、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長井内雅妃様からは、1年後に迫ったオリンピック・パラリンピックに向けて地元で行われている様々なイベントやボランティア活動に対する御礼と、今後もスポーツ博覧会やラグビーワールドカップのパブリックビューイングなどが行われるこの機を捉えてスポーツ推進に努めたいとのお話がありました。

また、東京都スポーツ推進委員協議会OB会からも2名お越しいただき、東京都スポーツ推進委員協議会へ寄付金の贈呈式が行われました。



続いて、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 小坂田みゆ様からは最新の情報提供がありました。

出席45名、委任状8名、合計53名で定足数(正会員の過半数)を満たし総会は成立しました。定款に基づき新島会長が議長となり議事に入りました。

<議 事>

(1) 報告事項

- 1) 理事会報告(第3回:6月12日)
(第4回:7月10日)(第5回:9月11日)
- 2) 各委員会報告(企画総務・研修・情報・女性)
- 3) 財務報告(会費・賛助金他)
- 4) 関東スポーツ推進委員理事会<6月7日(金)>
- 5) 関東スポーツ推進委員研究大会(埼玉県)
<6月7日(金)~8日(土)>
- 6) 全国連合定時総会<6月11日(火)>
- 7) 都スポ協会会長会<6月16日(日)>
- 8) ニュースポーツ研修会<6月22日(土)>
- 9) ファミリー健康体力向上事業中央研修会
<6月29日(土)~30日(日)>
- 10) 都スポ協交流ポッチャ大会
<7月15日(月・祝)>
- 11) 令和元年度臨時社員総会<7月17日(水)>
- 12) 令和2年度広域地区別研修会事前説明会
<7月17日(水)>
- 13) 東京都障害者総合スポーツセンター開所式
<6月30日…国立市・7月28日…北区>
- 14) 東京都初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
- 15) 令和元年度全国スポーツ推進委員(功労者表彰、
30年勤続表彰、優良団体表彰者)
- 16) 令和元年度 広域地区別研修会報告
①第1ブロック 7/6(土)港区

- ②第2ブロック 9/7(土)北区
- ③第3ブロック 8/31(土)品川区
- ④第6ブロック 9/14(土)稲城市
- ⑤第7ブロック 9/7(土)檜原村
- ⑥第8ブロック 7/27(土)東大和市
- ⑦第9ブロック 9/7(土)武蔵野市

17) 実務研修会<9月21日(土)>

18) リーダー委員会報告

19) その他

(2) 今後の事業について

1) 課題別研修会<11月2日(土)>

2) 第60回全国スポーツ推進委員研究協議会
三重大会<11月14日(木)・15日(金)>3) 女性委員会企画研修会<12月7日(土)>
江東区深川スポーツセンター

4) 地域スポーツ支援研修会

区部:令和2年1月25日(土)港区立男女平等
参画センターホール『リーブラ』田町駅

市町村部:令和2年2月8日(土)立川市

女性総合センター『1Fホール』立川駅

全域:未定

5) その他

総会は質疑応答の後、すべて承認され閉会となりました。

記事・写真 本下 文洋 情報委員会(西東京市)

社員総会**令和元年度 第3回社員総会**

12月11日(水)午後7時から深川スポーツセンター会議室(江東区)にて第3回社員総会が開催されました。

新島二三彦会長から「今年1年を振り返って」と題してご挨拶を頂いた後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長の神野美和様より、東京オリパラに関連する準備等の状況説明があり、引き続き同局課長代理の小坂田みゆ様より、本日配布の資料についての情報共有がありました。



その後、定足数の確認がされて(出席39名、委任状14名 合計53名)、総会は成立し、続いて議長の

選任、議事録署名人が確認されました。

議事は、以下の通りであります。

(1) 報告事項

1) 理事会報告

第6回(10月9日)、第7回(11月6日)。特に第7回に於いては、講師謝礼金の変更(東京都の変更に伴い都スポ協もそれに準拠する)について協議された。

2) 各委員会報告

○企画総務⇒情報共有の報告

○研修⇒第5回(10月2日)

第6回(10月30日)の報告

○情報委員会⇒第4回(11月19日)の報告
及び都スポだよりの進捗状況について

○女性委員会⇒企画研修会の役割分担について

3) 財務報告

賛助金残高について追加入金があり、

総額で363,000円から393,000円と増額修正されました。

4) 令和元年度広域地区別研修会報告

①第4ブロック 10月5日(土)中野区

②第5ブロック 9月28日(土)墨田区

③第10ブロック 11月30日(土)

東村山市

④第11ブロック 11月29日(金)

大島町・利島村

5) 課題別研修

11月2日(土) 雑司ヶ谷地域文化創造館で行われた「総合型地域スポーツクラブについて」研修会報告。57名の参加。

6) 第60回全国スポーツ推進委員研究協議会

三重大会(11月14日(木)~15日(金))
「スポーツ・イン・ライフを目指して~とこわか(常若)な社会の実現に向けて~」
(講演: 瀬古 利彦氏)

7) 女性委員会企画研修会(12月7日(土))

「ゴールボールの講義と実技」報告



8) その他

全国連合会会長会において配布された資料に関し

て、後日配布予定。

(2) 定款施行規則及び講師謝礼に関する細則の改定案について

- 1) 定款施行規則第2条会費の変更(既に臨時社員総会で承認済)について説明あり、採決にて承認される。
- 2) 講師謝礼に関する細則の講師欄の金額を東京都と同一にする提案がなされ(明文化)、採決にて承認される。

(3) 今後の事業について

- 1) 地域スポーツ支援研修会
 - 区部: 令和2年1月25日(土)
於: 港区立男女平等参画センターホール 『リーブラ』田町駅
 - 市町村部: 令和2年2月8日(土)
於: 立川市女性総合センター 『アイム』立川駅
 - 全域: 令和2年2月15日(土)
於: 墨田区立曳舟文化センター 京成曳舟駅
- 2) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2020
令和2年2月7日(金) 島根県
- 3) リーダー養成講習会
令和2年2月29日(土)~3月1日(日)
国立オリンピック記念青少年総合センター

記事・写真 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)

全国大会

第60回全国スポーツ推進委員研究協議会・表彰

11月14日(木)、15日(金)の両日「スポーツ・イン・ライフを目指して」の大会テーマのもと、三重県津市の「津市産業・スポーツセンターサオリーナ」をメイン会場として、第60回全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会が開催されました。



1日目は歓迎アトラクションとして皇學館大学雅楽部の演奏が行われました。開会式のあと表彰式が行われ都スポ協関係者も多数受賞されました。

講演は「心で走る」と題し、瀬古利彦さん(横浜 DeNA ランニングクラブエグゼクティブアドバイザー)がご自身のオリンピック経験と、マラソン強化戦

略プロジェクトリーダーとして現在取り組んでいるマラソン強化策についてお話をされました。

低迷状態だったマラソンの強化策として先ず選考会の一本化により選手のモチベーションを上げることに成功しました。意識改革にも取り組んだ結果、男子マラソンは16年ぶりに日本記録を更新した。今後更に東京オリンピックでの活躍につなげていきたいと話されていました。

シンポジウムは「新たな時代のスポーツ文化の確立に向けて」というテーマで、コーディネーター松永敬子氏(龍谷大学経営学部教授)の進行により、シンポジストとして、浪越一喜氏(帝京大学教育学部教授)、大藏倫博氏(筑波大学体育系准教授)、兒玉友氏(日本福祉大学スポーツ科学部助教)、松田雅彦氏(大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭)をお迎えして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする大規模スポーツ大会の開催によるスポーツへの関心・機運の高まりなど、スポーツを取り巻く環境は新たな局面を迎えているなかで、一過性のブームではなくスポーツ文化の確立に向けてどのように取り

組んでいくのか各専門分野からお話いただきました。



2日目は4つの分科会に分かれて、各々のテーマについて事例発表と討論が行われました。

第1分科会「スポーツを通じた地域活性化」～地域の特性を活かした取組による活力ある地域社会の実現を目指して～ コーディネーター 浪越一喜氏（帝京大学教育学部教授）、発表者 杉岡亜土氏（大阪府：特定非営利活動法人長野総合スポーツクラブ理事長）、小池正浩氏（静岡県：NPO 法人掛川市体育協会スポーツプロモーション課長）、大山純輝氏（三重県：一般社団法人志摩スポーツコミッション事務局長）

第2分科会「健康寿命の延伸に向けた取組」～スポーツ・レクリエーションを通じた健康長寿社会の実現を目指して～ コーディネーター 大藏倫博氏（筑波大学体育系准教授）、発表者 佐藤文音氏（高知大学地

域協働学部助教）、的場弘毅氏（三重県：一般社団法人元気クラブいなべ事務局長）、河原塚達樹氏（公益財団法人日本レクリエーション協会常務理事）

第3分科会「障害の有無に関わらず楽しめるスポーツの振興」～スポーツを通じた共生社会の実現を目指して～ コーディネーター 児玉友氏（日本福祉大学スポーツ科学部助教）、発表者 大浜あつ子氏（千葉県：NPO 法人スマイルクラブ理事長）、野坂賢司氏（三重県：四日市市スポーツ推進委員）、矢崎萌斗氏（長野県障がい者福祉センター障がい者スポーツ支援センター佐久指導員）

第4分科会「子供・若者のスポーツ活動の推進」～スポーツ機会の充実による運動習慣の確立を目指して～ コーディネーター 松田雅彦氏（大阪教育大学附属高等学校平野校舎教諭）、発表者 阪上真紀氏（公益財団法人ライフスポーツ財団事務局長）、三田博司氏（愛知県：認定 NPO 法人朝日丘スポーツクラブ事務局長）、渡辺靖代氏（岐阜県：一般社団法人スポーツリンク白川クラブマネジャー）

今大会ではスポーツと地域社会、長寿社会、障がい者、子供・若者との取り組み方を考える中で、スポーツ推進委員の役割や活動について参考となる研究内容でした。

記事・写真 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

<受賞者の皆様>

受賞おめでとうございます

「敬称略」

<文部科学大臣表彰>



宮崎 英子（小金井市）



岡田 真由美（三鷹市）



飴本 公子（品川区）

<スポーツ推進委員功労者表彰>



五十嵐 義臣
（江東区）



関 隆男
（葛飾区）



金井 利奈
（墨田区）



太田 雄三
（練馬区）



青木 しおり
（新宿区）



安部 純一
（江戸川区）

<30年勤続スポーツ推進委員表彰>



山本 益弘 (江東区)

<優良団体表彰>

武蔵野市スポーツ推進委員協議会

研修会



東京都初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」は、令和元年7月20日(土)から8月18日の期間に延べ4日間(いずれも土日)の日程で、国立市役所会議室及びくにたち市民総合体育館で開催されました。

同講習会では、特に障がい者の方々との交流を通じ、より専門的な知識を得る事が出来、スポーツ推進委員としてこれまで以上に障がい者の立場に寄り添ったサポートが出来るノウハウを学ぶことができました。



具体的には、障がい者の方々とは十分なコミュニケーションを図り、予想されるケガ等に配慮・注意し、安心且つ安全な環境作りに努め、積極的にサポートすることの大切さも実感できました。

そして受講者の中には、“受講する前と後では考え方が変わった”との声も聞こえてきました。

障がいの程度によって接し方やサポートの方法は異なります。我々スポーツ推進委員は、スポーツの楽しさを障がいの有無に関係なく享受して頂けるように、今後もこのような講習会を通じて、幅広い活動に努めて行きたいと思えます。

最後に講師の先生をはじめ、今回の講習会を通じて尽力頂いた多くの方々には心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

千代田区スポーツ推進委員 池田 友規

研修会

実務研修会

令和元年9月21日(土)午後1時30分から新宿区若松地域センターにおいて「スポーツ推進委員に期待されるリーダーシップ」と題して研修会が行われました。この日は、三連休の初日にも関わらず、参加者が80名という事で大変盛り上がりました。



講師には前会長であり(一社)東京都スポーツ推進委員協議会顧問の阿部正幸氏を招き、「スポーツ推進委員のスキルアップ」という視点から、スポーツ推進委員に求められる連絡調整・企画運営について以下のポイントに基づき講義が行われました。

まず、スポーツ推進委員は「スポーツ振興法(第19条)」に位置づけられた非

常勤公務員であり、自覚をもって職務に当るべきという前提に立ち、

- ① スポーツ推進委員制度の確立
- ② スポーツ推進委員の変遷と役割の変化
- ③ スポーツ基本法での要点
- ④ スポーツ振興の変遷「体育」から「スポーツ」へ
- ⑤ 生涯スポーツの振興
- ⑥ 地域のスポーツ環境の充実に向けて
- ⑦ 連絡調整の具体的内容
- ⑧ スポーツ推進委員に求められる具体的な役割
- ⑨ 事業の企画・運営の基本手順
- ⑩ 事業の成功のために

以上の内容に関して、詳細な説明を頂く事が出来ました。

まとめとして、「スポーツ振興法」から50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」におけるスポーツ推進委員の役割として、スポーツ推進委員は、「地域か

ら様々期待される存在であり特に事業の実施に係る連絡調整に関して重要な立場」である事が確認され講義は終了致しました。

最後に、今回の講義を通じ、改めて「連絡調整にかかる発想力・企画力」の重要性を感じる事が出来ました。私自身は、体育指導委員及びスポーツ推進委員と

20数年携わってきましたが、今後更なるスキルアップを図り、「住んでよく、訪れてよい、まちづくり」を目指し精進していきたいと感じました。

記事・写真 長崎 より子 情報委員会（千代田区）

研修会

課題別研修会

11月2日(土)午後1時30分から雑司ヶ谷地域文化創造館において、令和元年度課題別研修会が参加者57名で開催されました。



東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 小坂田みゆ様及び都スポ協新島二三彦会長のご挨拶の後、NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部・ピポットフット理事長 桑田健秀氏を講師に迎え「総合型地域スポーツクラブの現状とこれからの方向性での問題提起(総合型スポーツクラブからの視点)」と題して研修会を行いました。

講師の桑田氏は日本鋼管在職中、モントリオール五輪にバスケットボール日本代表と出場され、その後、同社において早期退職を迫られた際に、現在のNPO法人を立ち上げられました。

同氏が、これまでの活動を通じて感じた事は、スポーツをしている子供たちは「常にうまくなりたがっている」という事だということです。そのためには、定期的に技術を提供する必要があるということです。そしてそれらを実現させるために、受益者からも正規の受講料を徴収し、それを指導員や事務員の必要経費に充てる事が、継続的な運営につながり、最終的には受益者の利益になるとことを力説されました。

そして、今後地域スポーツクラブはボランティア・補助金に頼る経営から脱却を目指し、自立・事業化へ挑戦をしていくためにどうすべきかを考えていかなければならないとも併せて説明されました。

一方、同法人においては、オリンピック選手や国体参加選手等が引退後に十分な生活が出来る受け皿にすることを目指しているとのことでした。

最後に、自分たちで運営資金を集める事が出来ないNPO法人等であれば、民間企業と事業連携をしていかなければならず、そのためにクラブ間の「横の繋がり」が重要であることなどの説明もありました。

後半は大田区・板橋区・羽村市・練馬区から事例紹介があり、参加者からの多くの質問が寄せられました。

各地区ともパンフレット・リーフレットなどは行政に印刷を頼んでいるという共通点がありましたが、会



場の借用が優先的に出来る地区と指定管理者制度により出来ない地区があるなど色々な問題点があることが話し合われました。

記事・写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）

研修会

女性委員会企画研修会

12月7日(土)午後2時から江東区深川スポーツセンター3階体育室で女性委員会企画研修会が「ゴールボール」をテーマに開催されました。参加者は62名でした。

講師に木内清治氏及びスタッフの皆様をお迎えし実技中心の研修が行われました。

パラスポーツの一つであるゴールボールは、視覚障がい者が男女別に行うチームスポーツで、鈴の入った

ボールを互いに投げ合い、得点を狙う対戦型競技です。

選手は音を頼りに競技するため、観客はプレー中に声を出して応援することはできません。静寂の中で攻防が繰り広げられる、障がい者スポーツの中でも特徴的な競技とも言えます。

今回の研修では、まず、「チーム：ローラー作戦」の選手・レフリーの方々の実技と説明が行われ、障がいの程度（視力や視野）によって差が出ないように、実際

にはアイシェード（下にはアイパッチが貼られ）を着用していますが、研修では類似（疑似）体験と言う事でアイマスクを使用して公平性を保ちました。

続いてコート作りが行われました。ラインは3ミリの紐の上からテープを貼って作られます（バレーボールコートと同じ広さ）。また6分割された半分が自分のエリアとなります。使用するボールは、バスケットボール7号球とほぼ同じ大きさで重さは1.25kgあり、バスケットボールの2倍の重さのボールでした。



次に、実際の実技をするあたり、それぞれの班ごと（1～4班）、目隠しをした状態でコートの上（線の上）を手と足の感覚を頼りに歩く体験をしました（不安を感じながらも何とか進むことが出来ました）。

また、実際の試合を想定し、音を頼りに「センター」「ライト」「レフト」と声と拍手でボールを回し、膝をつき両手を前についた状態から左右に来るボールの音

を聞き分け、移動する基本の動作を教えてくださいました。ボールの音、鈴の音を聞くこと、立ち上がってボールを「転がす・投げる」ことも体験することが出来ました。



最後に、両手、両膝にサポーターをして試合（簡易な）が用意されていました。その中で私は、副審の体験もさせて頂きましたが、スムーズに試合が行えるように指示をするのは（例えば、音が出るようにボールを選手の横に落とす）、想像以上に難しく、また思うように笛の音が出ませんでした。

初めての体験ばかりでしたが、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。東京パラリンピックが今から楽しみです。

記事 情報委員会 白鳥 敏子（北区）

写真 情報委員会 長崎 より子（千代田区）

各地区の情報

情報ひろば

【世田谷区】

世田谷区では、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を迎えるにあたり、「2020年に向けた世田谷区の見込み ～東京2020大会後見据えて～」を策定しました。

また、アメリカ合衆国選手団のキャンプ地となっており、都内で初めて国の「共生社会ホストタウン」の登録を受けました。これらの指針に基づき、スポーツ推進委員は、誰でも楽しめるユニバーサルスポーツの一つである「ポッチャ」の推進に取り組み、世田谷公園でのガーデニングフェスタや区民ふれあいフェスタなど、直接スポーツには関係の無いイベントにも積極的に参加し、ポッチャの紹介コーナーを設け、啓発活動に努めております。

誰でも「誰」は、障がいがある方だけではなく、高齢等により身体に痛みを抱え激しい運動ができない、運動に苦手意識を持つ子ども、など様々です。これまで運動することに消極的だった人にその垣根を越えさせる力がポッチャにはあります。またチームスポーツですから、初めて会った同士でも力を合わせ、勝って

喜び合うことができます。



（スポーツ推進課職員、青少年委員、スポーツ振興財団職員のチーム。皆良い笑顔でしょ？）。

東京2020オリパラのレガシーとしての「共生社会」を目指し、今後も楽しくポッチャの普及に取り組んでいきます！

世田谷区スポーツ推進委員 土屋 由紀

【八王子市】

八王子市スポーツ推進委員協議会は、市内23地区から37名の委員が活動しています。

年間行事を紹介いたします。5月第3日曜日に行う「ヘルシーウォーキング」があります。実施にあたり、当日までに3回ほど実踏を行いコースの選定を行っています。また、当日はコース上のポイントで「案内」や「応援」を行っています。例年、子どもから高齢者まで1000人近くの方にご参加いただいています。

次に6～7月の毎週土曜日計6回にわたり行う「ネオテニス親子教室」をご紹介します。初日にはラケ



【あきる野市】

あきる野市スポーツ推進委員は、現在16名で活動しています。ペタンクやターゲットバードゴルフなどの講習会を定期的に行うなど、普及活動を続けております。その成果として、ターゲットバードゴルフの団体ができ、今年度から、あきる野市の体育協会に新規加入しました。

また、春と秋には、12キロから15キロ程度のヘルシーウォーキングを実施しています。



(ヘルシーウォーキングの様子です)

 編集後記 あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年は自然災害に見舞われ多くの方々は今も不自由な生活をされていることにお見舞い申し上げますとともに、令和の 때가平和で自然災害も少なくなることを願っています。

ついに来ました。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年となりました。我々も微力ながら大会を盛り上げると共に各地域のスポーツ振興を図っていきましょう。

情報委員会の皆様、都スポだより作成にご協力ありがとうございました。編集 才郷 正次 情報委員会 (東大和市)

ットにボールの当たらなかった人でも最終日には試合が行えるくらいに上達する参加者もいます。

10月には、障がい者の運動会「ふれあい運動会」にお手伝いとして協力しています。準備体操から競技にいたるまで安心して活動ができるよう障がい者の方々をサポートしています。

年が明けた2月には、市主催の「全関東八王子夢街道駅伝競走大会」のお手伝いとしてコース沿道に立ち大会を支えています。

上記以外にも、パラリンピック正式種目である「ボッチャ」の普及活動として、市内各所へお伺いし派遣指導を行っています。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツの素晴らしさが一人でも多くの人に伝わるよう、これからも推進委員一丸となって活動していきたいと思ひます。

八王子市スポーツ推進委員協議会

広報部長 杉本 澄夫

毎年、参加を楽しみにしている市民もおり、期待に応えるべくいろいろなコースを考えています。

7月には、小学生対象の子ども相撲大会を行っています。相撲大会の1ヶ月前くらいからは、平日の放課後に小学校へ出向いて、まわりの付け方から稽古まで、各小学校のPTAと協力しながら行っています。

体育の日には、新体力テストを実施しており、個人のデータをわかりやすくグラフ化するなどして、健康づくりの一助としています。

1月には、綱引き大会を企画しています。小学生の部、中学生の部、一般の部とあり、スポーツ推進委員も審判法を学び、大会の運営にあたっています。

今後も、あきる野市が目標としている、スポーツ実施率70%達成を目指して、活動していきたいと思ひます。

あきる野市スポーツ推進委員 会長 菊池 常広